

✿ 現役生からの報告

立教大学 4 年 舞踏研究会 代表 森田しおり

新歓活動を通して——

新緑の美しい季節となりました。立教舞踏研究会は現在、4 年生 8 名・3 年生 13 名・2 年生 15 名、スタンダード専攻 16 名・ラテン専攻 20 名で活動しています。2019 年度に突入して新 3 年生が幹部となり、只今新入生勧誘活動に全力を挙げております。言うまでもなく、男子と学女生をメインターゲットとして、上級生も少ないながら毎日池袋と新座各 2 回ずつのデモンストレーション、そして学女でのドレスを着ての新歓活動など、どれも欠かさず行いました。また、昨年の新歓を振り返ると SNS の普及により、新入生に声をかけた時には既に入るサークルを決めてしまっていたという感触を得ていたため、今年はその SNS を活用して早期からの勧誘活動にも取り組みました。これから本入部に向けて、引き続き部員全員と協力し努めて参る所存です。

前期 FM 予選会の成果——

一方で、5 月からはついに学連の競技会シーズンが始まります。それに先駆けて行われた先日の FM 予選会において、昨年後期に引き続き予選会突破を果たすことができました。しかし、メンバーの過半数にラテン専攻や新 2 年生を含むという厳しい現状は変わらない上に「前は予選会突破できた」というプレッシャーが加わり、決して容易い道のりではありませんでした。そして、新 FM『Burlesque』が完成して 1 年、私達がチーフを務めるのも 2 期目、ということで全体として慣れによる緩みも感じました。チーフとメンバーが同じ目線で毎日練習に励むことができた春合宿までは早いペースで仕上がってきていましたが、3 月に入り私達 4 年生の就職活動が始まってからは充実度の維持が特に難しかったです。それでも、夏の全日本戦への切符をかけた団体成績における重要な得点源として、全体の共通意識を高め、手を抜くことなく取り組むことができました。

競技会シーズンを控えて——

こうしてまた予選会突破を遂げられたことは、今年度前期競技会シーズンの良い駆け出しになったと思います。人数が少ないという現状をも、新 2・3 年生の試合出場の機会が増えるとして前向きに捉え、最高学年として個々人の意識の高まりを全体の団体意識に繋げていきたいと私は考えています。その上で、先日の OBOG 戦における立教団体優勝を成し遂げられた先輩方のお姿は、現役生にとって大きなモチベーションとなりました。今年度の対外試合一発目である 5/12（日）の六大学戦に向けて、新歓と並行して練習を重ねておりますので、ぜひ当日は OBOG の先輩方にも会場のテレコムセンタービルに足をお運びいただき、応援のお力添えをいただけると幸いです。最後になりますが、昨年の幹部としての経験を活かした運営のサポートと、競技会成績の牽引を卒部までしっかりと務め上げる所存でございますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。